

- ②面 東池袋・24年度までに高層ビル4棟
- ③面 外資ファンド・ビル買いは銀座に集中
- ④面 「大新宿区まつり」のイベント展開中
- ⑤面 西谷大好きまつりは7～8日
- ⑥面 工藤進英・昭和大学特任教授に聞く

週刊

# 新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

購読料6ヵ月4,000円、毎月5日の発行、創刊163周年 電話3369-6195 FAX3369-0759 (昭和33年12月4日第3種郵便物認可)

10月5日 社章  
2017年(木曜日)  
(第2026号)

発行所  
新宿区新聞社  
編集・発行人 喜田 勇  
新宿区西新宿1-1-25  
ワコービル2階



都内で地価4位の上昇率をみせた新宿歌舞伎町



## 新宿・渋谷・豊島の基準地価

国土省は9月、今年7月1日時点の基準地価を公表。都内では“地価日本一”の銀座が上昇率でもトップ3を独占。訪日観光客の取り込みをめざし「GINZ

A SIX」など、商業ビル開発が続いたことが地価を押し上げた。この銀座に続く伸び率を示したのが新宿・歌舞伎町だ。15年の東宝ビル開業で復興を遂げた歌舞伎町は、東宝に続く大規模再開発として東急ミラノ跡地開発がスタート。訪日客取り込みをめざしたホテル建設も相次ぎ、前年に比べた伸び率は何と15.3%増となった。また新宿南口の千駄ヶ谷(渋谷区)では昨年開業したミライナタワー、パスタ新宿の賑わいを代々木方面へと引き込むための16階再開発ビル事業が、今年5月に起工。この開発効果で14.9%増の伸び率となり5位につけた。

新宿・渋谷・豊島の基準地価(商業地) ※単位1㎡あたり

	上昇率の高かった地点	(万円)	上昇率
新宿	ワモールビル(歌舞伎町1-18-9)	580	15.3%
	レインボービレッジ(新宿3-5-4)	1,690	13.4%
	晴花ビル(西新宿1-18-2)	1,800	11.8%
	猪山興業ビル(新宿3-18-5)	1,600	10.3%
	新宿モリエールビル(新宿3-33-10)	915	10.2%
渋谷	南新宿SKビル(千駄ヶ谷5-32-10)	609	14.9%
	関口ビル(道玄坂2-29-19)	1,140	14.0%
	渋谷東日本ビル(神南1-22-8)	1,140	11.8%
	SANWA 青山ビル(渋谷2-9-9)	488	11.7%
	協和エクスオビル(渋谷3-29-20)	390	11.4%
豊島	マツキヨ池袋2(東池袋1-22-8)	695	12.1%
	池袋COASTビル(南池袋2-27-6)	296	9.6%
	のりやビル(西池袋1-19-7)	650	9.2%
	ノーブル池袋(池袋2-53-12)	178	7.2%
	T・Nビル(目白3-13-1)	140	6.1%

### 歌舞伎町

**訪日客向けホテル建設ラッシュ**

都内の上昇率では銀座(9)の基準地価(1平方メートル)が約500万円(東急ミラノ)から取得。ミラノ跡地部分を加えた敷地4千8百30平方メートルにホテルとエンターテインメントの合築となる超高層ビルを建設する。建設の着手時期は19年春の開業をめざし建設としてVR体験施設が設けられる。20年までに歌舞伎町に大小6棟のホテルを稼働中)からとなりそうだが歌舞伎町のさらなる飛躍への期待は大きい。歌舞伎町の賑わいは「丁目エリアにとどまらず、日冬の受け皿となるホテルの建設も相次いでいる。アパグループでは、職安通り沿いのASKビル(歌舞伎町2-18-1)を再開発するカプセルホテル「グリーンラサ」は東宝ビルに続く歌舞伎町の大規模再開発となる。ホテル「グリーンラサ」の再開発は昨年11月にミラノ跡地への期待感だ。

## ミラノ跡開発が地価押し上げ

# 銀座に次ぐ上昇率(都内4位)

### 外国人・再開発・駅近が理由

都内の基準地価上昇率の順位

基準地価(1㎡)	上昇率
中央区銀座6-8-3	21.8%
中央区銀座2-6-7	17.9%
中央区銀座7-11-14	17.5%
新宿区歌舞伎町1-18-9	15.3%
渋谷区千駄ヶ谷5-32-10	14.9%
渋谷区道玄坂2-29-19	14.0%
中央区八重洲2-10-5	13.9%
港区高輪2-19-19	13.5%
新宿区新宿3-5-4	13.4%
台東区浅草1-29-6	12.6%

### 池袋はサンシャイン通りが上昇

池袋駅周辺では駅南側、電線L.A.B.I.渋谷店隣の4街区の開発をはじめ、バルコ開発など20年2-29-19)は前年比五輪に向けた再開発が相次いでいる。こうした駅目の伸びを示した。前の再開発ラッシュに支えられ、道玄坂・ヤマダイン通りがトップ

豊島区内の上昇率トップは池袋東口・サンシャイン通り沿いにあるマツモトキヨシ池袋Part 2店(12・1)物増)だった。

### 3面へ続く



千駄ヶ谷5丁目地区では16階再開発ビルが建設中。地価は前年比で7.4%増と、都内でこの歌舞伎町に次ぐ伸びを示したのが新宿南口(渋谷区)だ。

**職員互助会に給付金**

高野 之夫

本区では、地域社会の理解を進めるために、様々な啓発活動に取り組んできました。区民向けの講演会やパネル展示に加えて、職員の人権研修でも取り入れ、職員からの発表でも努めてきたところで、職員互助会では同性カップルが一部給付金の対象となりました。また、今年度は、職員・職場の意識実態調査を行いました。区民の皆さんと接する職員や職場の状況を把握し、窓口等で職員が統一した対応ができるように対応指針の作成を検討したいと考えています。

**多様性の理解促進**

吉住 健一

新宿区では、誰もが多様な生き方を認め合える、LGBT等性のマイノリティの方も暮らしやすいまちを目指し、申請書等の性別欄の配慮や、窓口等での対応など、誰もが安心して生活できるまちを目指しています。

**LGBT施策について**

長谷部 健

パワート21組に交付した給付金(10万円)のうち、LGBTの人権について積極的に取り組んでいきます。日本初となるパートナーシップ証明書(現在21組に交付)が注目を集めていますが、電話相談等の支援、区民や企業への啓発、そして教育現場での理解深めに至るまで、多様な性の共同参画社会実現に向けて幅広く取り組んでいく予定です。